

2019年3月期 上半期連結業績概要

常務執行役員
山西 哲司

2019年3月期 上半期決算のポイント

●売上高、営業利益ともに半期、四半期ベースで過去最高を更新*

↳売上高は前年同期比15.8%増、営業利益は前年同期比40.7%増。

↳自動車市場の旺盛な需要環境を背景に、コンデンサを中心とした受動部品の収益拡大が継続。

↳ICT市場向けでは、スマホをはじめノートPC、タブレット等のモバイル機器用途の二次電池の販売が好調に推移し全社収益を牽引。

↳データセンター向け需要が引き続き堅調に推移、更に生産拠点の再編効果もあり、HDDヘッドは増益を確保。

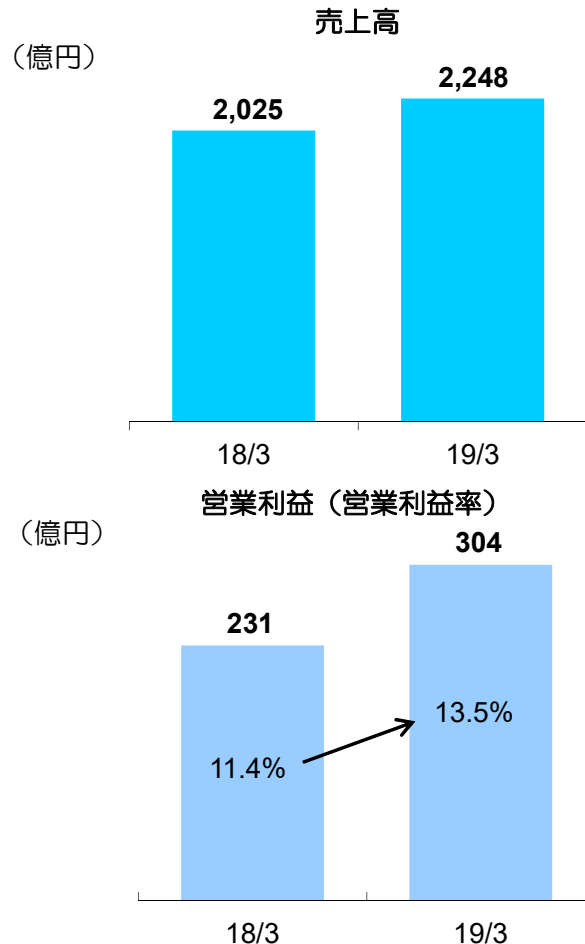
↳磁石事業再生に向け、フェライト磁石の減損を計上。

*営業利益は2017/3期に計上の事業譲渡益を除いたベースで比較

2019年3月期 上半期連結業績概要

(億円)	2018年3月期 第2四半期累計実績 (2017.4.1~2017.9.30)	2019年3月期 第2四半期累計実績 (2018.4.1~2018.9.30)	対前年同期比	
			増減	増減率 (%)
売上高	6,236	7,219	983	15.8
営業利益	442	622	180	40.7
営業利益率	7.1%	8.6%	+1.5pt	-
税引前利益	443	578	135	30.5
当期純利益	307	411	104	33.9
1株当たり利益 (円)	243.15	325.30	-	-
為替	対ドルレート (円)	111.08	110.30	0.7%の円高
	対ユーロレート (円)	126.16	129.90	3.0%の円安
為替変動による 影響金額	売上高：約21億円の増収 営業利益：約15億円の増益			

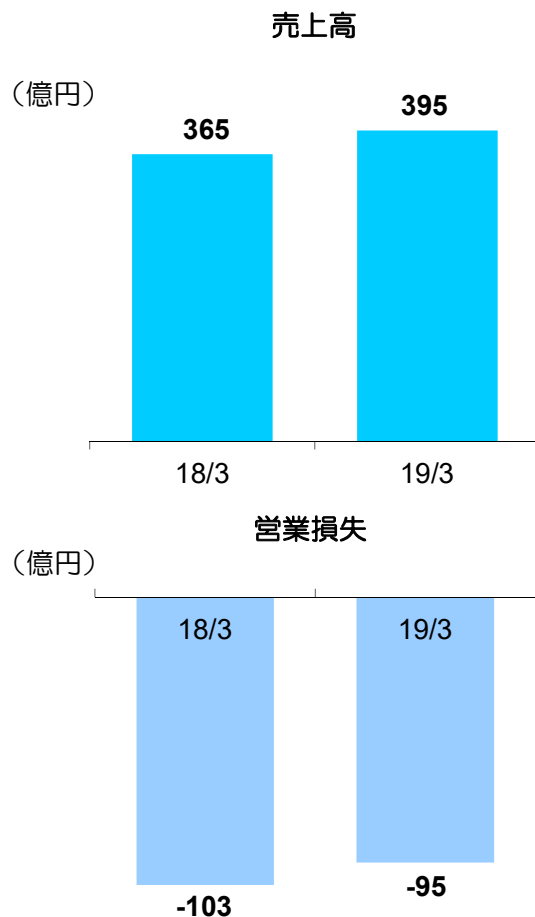
上半期各事業の状況（受動部品事業）



売上高 2,248億円（前年同期比11.0%増）
営業利益 304億円（前年同期比31.6%増）

- セラミックコンデンサ
 - 旺盛な需要環境が継続し前年同期比で増収増益。
 - 自動車市場向けを中心に販売が増加。
- アルミ・フィルムコンデンサ
 - 前年同期比で増収増益。
 - 産業機器市場及び自動車市場向けに販売が増加。
- インダクティブデバイス
 - 前年同期比で増収増益。
 - 自動車市場及びICT市場向け販売が堅調に推移。
- 高周波部品
 - 売上は前年同期比で増加。
 - ICT市場向けに販売が増加。
- 圧電材料部品・回路保護部品
 - 前年同期比で増収増益。
 - 産業機器市場向けに販売が増加。

上半期各事業の状況（センサ応用製品事業）

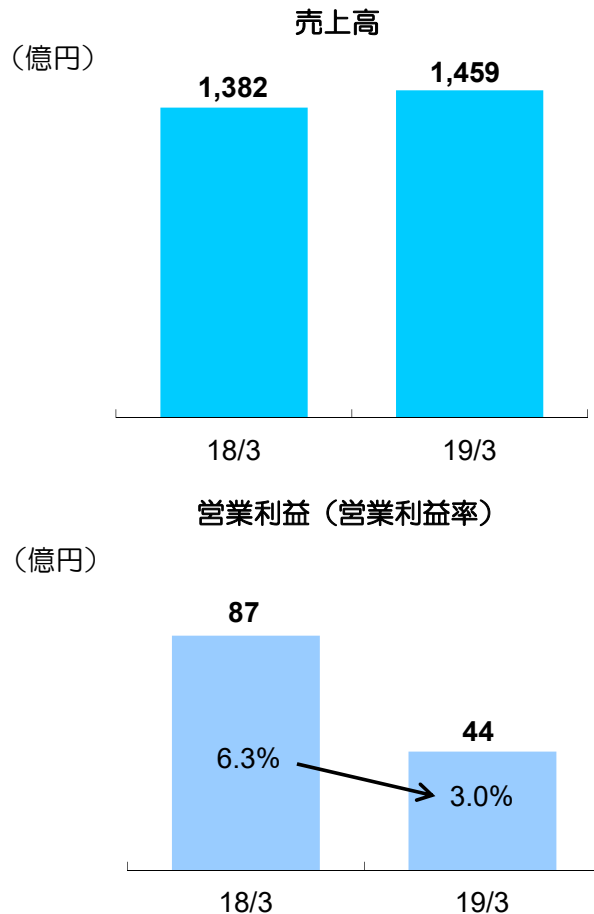


売上高 395億円（前年同期比8.2%増）
営業損失 △95億円（前年同期比一%減）

- センサ

- 売上は前年同期比で増加。
- 自動車市場向けに温度・圧力センサ、磁気センサの販売が増加。
- 磁気センサはICT市場向けの売上も拡大。

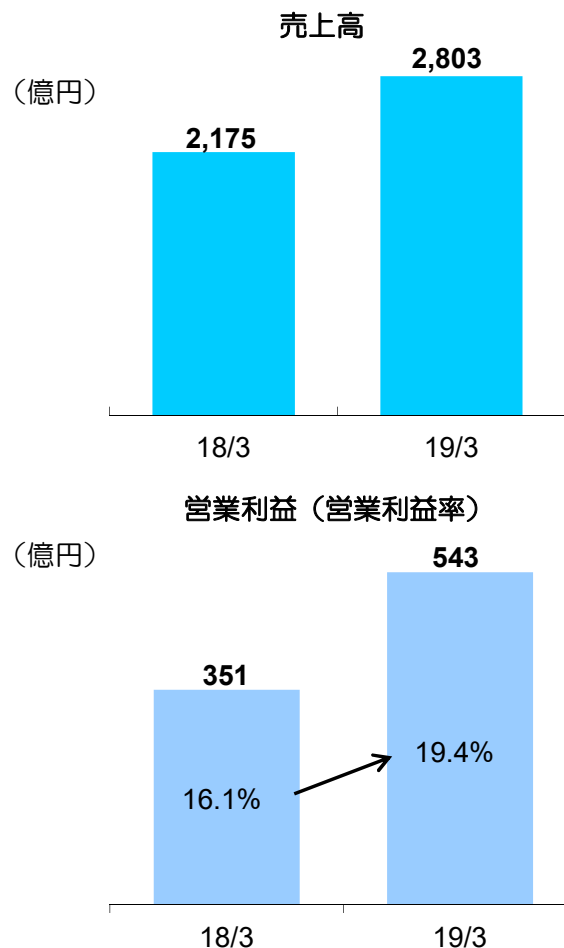
上半期各事業の状況（磁気応用製品事業）



売上高 1,459億円（前年同期比5.6%増）
営業利益 44億円（前年同期比49.4%減）

- HDDヘッド
 - HDDヘッドは数量減少ながらデータセンター向け需要が好調に推移し、プロダクトミックス良化により前年同期比で増収増益を確保。
- HDDサスペンション
 - HDDサスペンションは数量増、プロダクトミックスの良化により増収。
 - サスペンション応用製品（微細金属加工部品）はICT市場向け販売が拡大。
- マグネット
 - 前年同期比で減収減益。
 - 風力発電向けの売上減によりプロダクトミックスが悪化。
 - 第2四半期で減損を計上。

上半期各事業の状況（エネルギー応用製品事業）



売上高 2,803億円（前年同期比28.9%増）
営業利益 543億円（前年同期比54.7%増）

- エナジーデバイス（二次電池）
 - ↳ 前年同期比で増収増益。
 - ↳ ICT市場ではスマホ、ノートPC、タブレットのモバイル機器向けの販売が拡大。
 - ↳ ゲーム機等の新規アプリケーション向けの販売も拡大。
- 電源
 - ↳ 産業機器用電源は、需要が堅調に推移し前年同期比で増収増益。

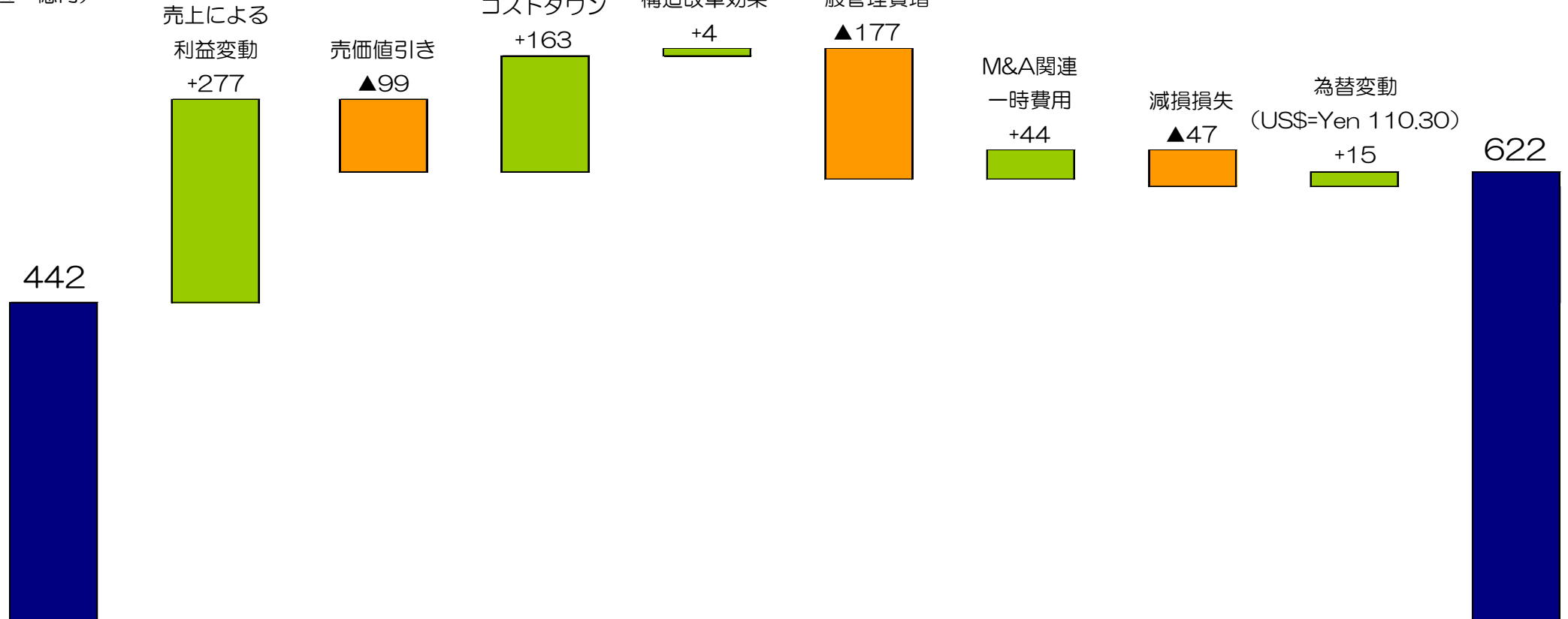
営業利益増減分析

2018年3月期
上半期
442億円

営業利益 +180億円

2019年3月期
上半期
622億円

(単位：億円)



2019年3月期 第2四半期連結業績概要

(億円)	2018年3月期 第2四半期実績	2019年3月期 第2四半期実績	前期比	
			増減	増減率 (%)
売上高	3,340	3,789	449	13.4
営業利益	276	368	92	33.3
営業利益率	8.3%	9.7%	+1.4 pt	-
税引前利益	273	341	68	24.9
当期純利益	197	249	52	26.4
1株当たり利益 (円)	156.35	197.03	-	-
為替	対ドルレート (円)	111.01	111.50	0.4%の円安
	対ユーロレート (円)	130.26	129.63	0.5%の円高
為替変動による 影響金額	売上高：約7億円の減収 営業利益：約4億円の増益			

セグメント別四半期実績

Attracting Tomorrow



(億円)		2018年3月期 第2四半期 (A)	2019年3月期 第1四半期 (B)	2019年3月期 第2四半期 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	392	445	439	47	12.0	△ 6	△ 1.3
	インダクティブデバイス	405	413	416	11	2.7	3	0.7
	その他受動部品	262	269	266	4	1.5	△ 3	△ 1.1
	受動部品合計	1,058	1,127	1,121	63	6.0	△ 6	△ 0.5
	センサ応用製品合計	202	189	206	4	2.0	17	9.0
	磁気応用製品合計	718	705	754	36	5.0	49	7.0
	エナジー応用製品合計	1,222	1,256	1,548	326	26.7	292	23.2
	その他	141	154	160	19	13.5	6	3.9
	合計	3,340	3,431	3,789	449	13.4	358	10.4
営業利益	受動部品	128	140	164	36	28.1	24	17.1
	センサ応用製品	△ 58	△ 49	△ 46	12	-	3	-
	磁気応用製品	50	35	9	△ 41	△ 82.0	△ 26	△ 74.3
	エナジー応用製品	216	210	333	117	54.2	123	58.6
	その他	△ 2	△ 10	△ 17	△ 15	-	△ 7	-
	小計	334	325	444	110	32.9	119	36.6
	全社および消去	△ 58	△ 71	△ 76	△ 18	-	△ 5	-
		合計	276	254	368	92	33.3	114
	営業利益率	8.3%	7.4%	9.7%	+1.4pt	-	+2.3pt	-
為替	対ドルレート (円)	111.01	109.09	111.50				
	対ユーロレート (円)	130.26	130.16	129.63				

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競争条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

また、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は、以下のページに後日掲載いたします。
http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2019/2q_1.htm